

# 令和6年度 道徳科授業実践のポイント②

11月21日(木) 3時間目 竹田市立竹田中学校 第1学年2組 赤嶺直和教諭

【主題名】安全への心構え

・内容項目：A(2) 節度、節制 ・教材名：「疾走、自転車ライダー」(「あすを生きる1」日本文教出版)

【ねらい】

身近に起こり得る交通事故について、安全や危機管理の大切さを理解する活動を通して、安全で調和のある生活を送ろうとする実践意欲を育てるようになる。

＜学習状況を把握するための指導の着眼点＞

・安全や防災への意識を改めて捉えなおそうとする発言や記述が見られたか。



## 発問構成

【めあて】

安心・安全な生活を送るためには、どのような点に気を付ければよいだろうか

・教材文範読

【中心発問】

行雄の言う「交通安全」についてあなたはどうか考えるか

・グループでの話し合い

【補助発問】

どのような点に気を付けることが「交通安全」につながるか、それが本当に実行できるのか

・道徳ノート記入

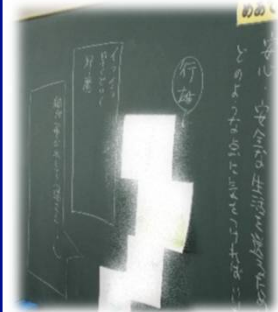
【振り返り】

自分の周りの人が安心・安全な生活を送るためには、自分勝手な考えや行動はせず、リスクを意識し、万が一のことを想定しながら、思いやりの精神で過ごすことが大切である。

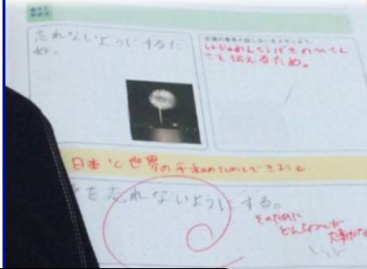
・道徳ノートへ記入

・教師の説話を聞く

- ◇物語のあらすじや登場人物の行動については、教科書の挿絵を黒板に貼って短時間で確認し、学習の中心となる場面については、丁寧に確認するなど、メリハリをつけて短時間で行っていました。
- ◇このことによって生み出された時間は、個人で考える時間やグループで話し合う時間に充てることができました。
- ◇教室に備え付けられている「タイマー」はほとんど使わず、生徒の記入の様子や話し合いの様子に応じて柔軟に時間を設定していました。



## 【ポイント①】学習活動の時間設定



- ◇ワークシートや道徳ノートなどに記入させることによって、生徒は自分の考えを整理したり、再度見直したりすることができます。
- ◇また、グループで話し合った内容について記入することで、道徳的価値について新たな考え方の深まりや広がり期待できます。
- ◇竹田中学校の道徳ノートには、生徒一人一人に対して、教師から〇やコメントが朱書きされていました。生徒が考えたことについて教師がメッセージを送ることで、生徒も読み返し、授業を再度振り返ることができます。
- ◇教師にとっても、自身の授業を振り返り、生徒のよい面を積極的に評価する手がかりとなります。

## 【ポイント②】指導と評価の一体化

【ポイントもっと詳しく】

①「読み物道徳」と批判される授業 → P23へ

②指導と評価を一体的に捉える → P20へ

【参照資料】大分県道徳指導資料

「道徳科」評価と授業構想の在り方

